

# 事業実績シート

## 1 事業の概要

<b>協会事業名</b>	<input type="checkbox"/> コミュニティ活性化支援事業 <input type="checkbox"/> 定住促進事業 <input type="checkbox"/> 地域特産品需要拡大支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国際交流支援事業 <input type="checkbox"/> 長崎県防災航空隊常駐化支援事業			
<b>自治体(団体)事業名</b>	平成29年度第19回日韓国際交流文化祭事業			
<b>所管局部課</b>	<b>自治体(団体)名</b>	<b>所管部・課名</b>	<b>担当者名</b>	<b>連絡先(TEL)</b>
	壱岐市	教育委員会・社会教育課	山口祐二	0920-45-1202(代表)
<b>事業期間</b>	<b>開始年</b>	平成11年11月 日 (19年目)		
<b>事業実施手法</b>	<input type="checkbox"/> 全部直営 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> その他[ 補助 ]			
<b>実施期間</b>	(開始日) 平成29年12月4日      (完了日) 平成29年12月6日			
<b>委託した場合の委託内容</b>	<b>委託先機関名</b>	<b>担当者名</b>	<b>連絡先(TEL)</b>	
	壱岐市文化団体協議会	事務局長 町田光浩	0920-42-0049	
<b>委託内容</b>	(補助内容) 壱岐市としては、民間団体(地域の文化団体)である壱岐市文化団体協議会の本事業を壱岐市の国際交流事業として位置づけ、事業費の一部を補助することにより、国際交流を推進するものである。			
<b>助成事業の目的</b> ※住民視点を踏まえて記載してください。	<b>対象(誰を・何を)</b>	<b>意図(どういう状態にしたいのか)</b>		
	壱岐市文化団体協議会、市内の文化関係団体及び市民	最も近い隣国である韓国と文化交流を行い、日韓の友好・親善の輪を広げ、市民の国際交流の意識の醸成を図り、文化交流から経済交流まで幅広い国際交流に繋げていく。		
<b>助成事業の具体的内容</b> ※事業をまったく知らない人でも、事業の実施内容や実施方法の概要が分かるように入力してください。	壱岐市と韓国との両国を毎年交互に訪問するかたちで、国際交流を行っている。壱岐市からの交流形態としては、地域の文化団体による民間交流というかたちで、毎回35名程度の訪問団を組み交流が行われている。韓国からも、韓国国立国楽院や伝統公演芸術振興財団が、30名程度の訪問団を組み来日している。壱岐市からは日本の伝統文化や伝統芸能を、韓国からは韓国の民俗舞踊、宮中舞踊、民間音楽などを披露し、相互の文化交流を行っている。さらに、今年度は食フェアを同時開催し韓国の料理教室や韓国料理試食会を行って食文化について広く市民に紹介し交流を深めた。			
<b>事業開始の背景、これまでの経緯及び現状</b>	<b>(事業開始の背景)</b>			
	平成9年に旧石田町自治公民館連絡協議会の代表者5名が、旧石田町の財政的支援により、隣国である韓国済州道(済州島)の先進地視察に行き、国際観光、国際会議、国際スポーツの誘致による島の振興発展、教育文化の充実による次世代の育成に力を入れていることを研修した。これをきっかけとして、国際交流の機運が高まり、翌年には、石田町文化協会と連携し、再度韓国を訪問し、韓国国立国学院等との協議の末、芸能文化の国際交流を行うことの合意に至った。			
<b>事業開始の背景、これまでの経緯及び現状</b>	<b>(経緯・現状)</b>			
	平成11年に第1回の日韓国際交流文化祭が壱岐市(旧石田町)で開催され、韓国より25名が訪問し盛大に開催された。翌平成12年には「壱岐神楽保存会」の協力を得て、壱岐市から25名の訪問団を結成し、韓国を訪問した。その後、毎年交互に往来するかたちで交流を深め、これまで神楽や和太鼓、日本舞踊など多くの芸能文化団体による日本文化の披露を行ってきた。一方で、韓国からは、伝統の韓国民俗芸能を披露していただいている。			

## 事業実績シート

### 2 実績結果

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費 (円)		280,000	280,000	280,000					
(財源内訳)	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	市町振興共同事業助成金	224,000	224,000	224,000					
	一般財源	56,000	56,000	56,000					
成果 (活動) 指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	国際交流事業の参加者数	韓国開催年 35 名参加(訪韓)		人	目標	30	35	30
			沓岐市開催年 30 名参加(訪日)			実績	22	30	27
					目標達成率 (%)	73	85	90	
	②	国際交流事業の沓岐市開催年の一般市民鑑賞者数	沓岐市一般市民鑑賞者数 600 名(沓岐市開催は隔年)		人	目標	600	0	600
						実績	500	0	300
					目標達成率 (%)	83	0	50	

### 3 事業の振り返り

必要性の点検	(1) 公共性評価		必需 (+)  私益 (-)      公益 (+) 選択 (-)
	(公益性) <input type="checkbox"/> 広く社会に利益をもたらすサービス <input type="checkbox"/> 特定の個人又は集団のためのサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	(必需性) <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠なサービス <input type="checkbox"/> 住民生活に必要不可欠ではないサービス <input checked="" type="checkbox"/> 上記以外の中間的なサービス	
	(2) 行政関与の妥当性評価		(3) 廃止又は休止した場合の影響
妥当性低い      妥当性高い (-)      0      (+) 		(影響内容、程度等) 国際交流事業であるので、継続していくことにより交流の効果が徐々に高まっていくと考えられ、いったん廃止する(交流を止める)と次に再開するのは困難になると考えられる。	

## 事業実績シート

### 4 有効性の点検、効率性の点検

有効性の点検	(1) 成果(活動)指標の達成状況		(左記結果となった理由)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 成果(活動)指標の実績値は、目標を下回った		目標に対して実績は若干下回ったものの、ほぼ達成している。課題としては、韓国における壱岐市の情報発信をどうするか、また今回の国際交流の成果を市民へどう周知するかの問題がある。	
	(2) 成果(活動)指標を向上させるため、事業内容や実施方法を工夫する余地			
	<input type="checkbox"/> 工夫の余地はない <input checked="" type="checkbox"/> 工夫の余地がある	(工夫の内容・工夫の余地がない理由) 国際交流の意識を高め、文化面の交流とともに経済面も含めた交流へと発展させるべく、壱岐市の観光、特産物等の情報発信をおこなう。次回の訪韓においては、県ソウル事務所を訪問・交流事業の報告をし、県ソウル事務所を広く活用し情報発信を行う。		
実施予定 期 日	平成 30 年 5 月			
(3) 類似事業との統合		(統合可能性のある類似事業名、統合不可能な場合はその理由)		
<input type="checkbox"/> 類似する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 類似する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 類似する事業はない		現在のところ、類似する事業はないため、統合の可能性はないと考える。		
効率性の点検	(1) 民間委託化等の妥当性評価		(具体的内容)	
	<input type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務がある <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託化や非常勤化等を検討すべき業務はない		当初より、地域の文化団体が事業主体となり、これを行行政が財政的に支援する現在のかたちをとっており、今後もこのかたちを継続していくつもりである。	
	(2) 受益者負担の適正化等による歳入確保		(判断理由と可能な歳入確保内容)	
<input checked="" type="checkbox"/> 既に受益者負担の見直し等で歳入確保を実施済み <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等で歳入確保は可能 <input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し等での歳入確保は困難		交流会及び訪韓時の参加者負担(旅費等の半分程度の自己負担)があり、受益者負担としては適当と考える。		

### 5 今後の方向性

必要性の点検から 実施(予定)時期	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了(完了)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
有効性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> サービス水準低下	<input type="checkbox"/> サービス水準向上	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
効率性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> 委託化	<input type="checkbox"/> 非常勤化	<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 広告料収入等の新たな歳入の確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
具体的内容	本事業については、今後においても民間団体(文化団体)を中心とした国際文化交流事業として継続していき、壱岐市の観光や特産物などの情報発信を拡大させ、経済面も含めた国際交流へと発展させていく必要がある。そのために、文化団体と事前の準備や手続きなどに関し情報交換を行い、行政でなければできない必要な支援があれば、これを支援したい。また、韓国での開催の場合においても、市民に対して交流事業の様子や成果を広報・周知する必要がある。				